

## 県民調査について

### 1 概要及び目的

県民に対して「かながわ水源環境保全・再生事業」について普及啓発を行うとともに、調査によって得られたデータにより 5 年に一回実施している大規模な河川のモニタリング調査結果を補完することを目的とする。

### 2 調査概要

- ・ 公募により県民から参加者を募って調査を実施する。
- ・ 河川環境の指標（指標生物、平均スコア値、水質ランク）をもとに毎年度河川を調査する。
- ・ データの精度を確保するため、参加者に採集方法及び生物の分類方法についての講習会を行う。
- ・ 得られたデータを解析することにより河川のモニタリング調査結果を補完する。

	動植物調査	水質及びその他の指標
調査回数・時期	参加者が任意に定める	
調査内容	底生動物、魚類、水生植物、河原植物	気温、水温、pH、ゴミの量、透視度、川底の感触、におい

### 3 調査結果概要

区分	H29 年度実績	H30 年度実績	R1 年度実績	第 3 期累計	第 2 期累計	第 1 期累計	通算累計
応募人数	100 人	85 人	90 人	275 人	391 人	253 人	744 人
調査実施地点	51 地点	62 地点	56 地点	169 地点	170 地点	70 地点	291 地点

参加者に河川環境と動植物との関係を理解してもらう中で、「かながわ水源環境保全・再生事業」の重要性について啓発することができ、併せて、報告いただいたデータにより、動植物等調査の定点 40 地点以外の 49 地点の河川のモニタリングデータを収集することができた。

### 4 令和 2 年度県民調査の新型コロナウイルス感染症への対応について

年度末からの新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、県民調査の実施についても大きな影響を受けており、適切な感染対策を講じながらの説明会、講習会を適切な形で開催することは困難と判断し、**令和 2 年度は新規調査員の募集を中止**した。

そのため、昨年度から継続して参加してもらっている調査員のみで調査を継続しているが、現状では調査件数が例年よりも少なくなっている。

また、講習会等の開催が困難となったことから、講習会の内容を盛り込んだ動画の作成を行っているところであり、完成次第調査員向けに公開する予定としている。

### 5 次年度以降の調査方針について

次年度の調査方針については、新型コロナウイルス感染症への対応が継続的に求められることを念頭に次のとおりとする。

- ・ 対面での接触をなるべく避けた形で県民調査を実施する体制の整備

現在の県民調査は採集技術講習会や同定技術講習会を定期的に開催するなど対面を前提としているが、令和 2 年度からは新型コロナウイルス感染症への対応として**オンライン動画配信によ**

る講習会の実施準備を進めている。

令和3年度についても、この方向性をより進めていくため県民調査員向けのアプリケーションの開発を実施する。

現在のところ一からアプリケーションを開発することは想定しておらず、既存の生物調査用アプリケーションの一部に機能を追加することにより安価で県民調査に対応できるようなものを開発する予定としている。

想定している機能は次のとおり。

- ・ 質問・情報交換機能  
絵解き検索で分類できなかった生きものについて質問し、調査員間で教えあったり、調査適地に関する情報等をやり取りしたりすることが可能な機能を搭載
- ・ 調査結果共有機能  
令和2年度に取りまとめ予定の過去の生物調査結果を調査員間で共有できる機能を搭載
- ・ 検索機能  
令和元年度に作成した神奈川県版水生昆虫の絵解き検索を搭載
- ・ 報告機能  
調査実施前の漁協への報告や調査結果を報告する機能を搭載(検索機能と連動予定)

<アプリケーションイメージ>

